

笑いから考える「歌わない歌」を 受け入れる現象

講演者： 大門 碧

(京都大学アフリカ地域研究資料センター)

【概要】

ウガンダの首都カンパラで、ショー・パフォーマンスを中心とする都市文化から社会関係に関する研究をおこなってきた発表者は、録音された楽曲に口と身体を合わせて「歌っている」ように見せる芸の存在に不可解な気持ちをもちつつ調査を続けてきた。ときには録音された音声に身体を合わせて「語る」ように見せる芸も、その本人が「語っている」として大劇場での公演活動でおこなわれていた。本発表では「歌わない歌を人びとが受け入れている現象」を説明し、このことを理解する手がかりとして都市エンターテイメントに生起する「笑い」を取り上げる。まだ試論の段階だが、声を発する人物と声そのものが分離／接合するさまを考察してみたい。

日時： 2015年2月25日 18:00～19:30

場所： 学而館第三研究会室

入場無料、どなた様もご自由にお越しください

お問合せ： 岩田拓夫(t-iwata@fc.ritsumei.ac.jp)

